平成２４年４月２４日

１年総合理学科　保護者様
１年自然科学研究会　保護者様

兵庫県立神戸高等学校
校長　　溝口　繁美

平成24年度　第1回サイエンスツアーの実施について

保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所で実習を行う「第１回サイエンスツアー」の実施について、下記の通り案内いたします。本サイエンスツアーが、自然科学や科学技術に関する興味・関心の広がりや知識の充実につながることを期待しています。

記

サイエンスツアーとは

先端科学の現状や研究の様子を体験的に学びながら、科学技術に対する関心と理解を深めることを目的としています。長期休業日や土曜日に研究施設を訪問して、設備を利用した実習や実験を十分な時間をかけて行います。フィールドワークを伴う研究を知る実習（第１回）と、大学または研究所に設置された特殊な設備を使用した研究を知る実習（第２回・夏休み）を計画しています。

対象　総合理学科１年生全員・普通科１年生自然科学研究会に所属する希望者

日時　5 月 26 日(土)　7 時 40 分 王子公園青谷川脇集合完了　　18 時 30 分 王子公園青谷川脇解散

場所　京都大学フィールド科学教育研究センター　舞鶴水産実験所

内容　２グループに分かれ、実習船を用いた海洋調査と、生物調査･解析を行います。
ただし、天候により実習船を利用できない場合は、内容を変更します。

費用　交通費等の費用は、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業より支出します。

昼食　弁当を持参（ごみは各自持ち帰る）

その他
・実施上の追加説明が生じた場合は、生徒に対して連絡します。
・**4/27(金)**までに参加承諾書を提出して下さい。やむを得ず欠席しなければならない場合は，欠席届を提出してください（下記，該当する方に〇印をつけてください）。

切り取り線

京都大学舞鶴水産実験所サイエンスツアー　参加承諾書　欠席届

（　　）京都大学舞鶴水産実験所サイエンスツアーへの参加を承諾します。

（　　）事情により欠席します。(理由　　)

月　　日　　１年　　組　　番　氏名　　保護者　　印

第１回サイエンスツアー　実施要項
「京都大学フィールド科学教育研究センター・舞鶴水産実験所」

実施日時　　５月２６日(土)　7 時 40 分～18 時 30 分

集合場所　　王子公園東、青谷川脇歩道にバスが 7 時 30 分に停車しています。
7 時 40 分点呼完了次第出発(遅刻者を待つことはできません。余裕を持って集合)。

実施場所　　京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所
住所　京都府舞鶴市字長浜無番地　Tel 0773-62-5512　Fax 0773-62-5513
URL　http://www.maizuru.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/

当日の日程

7：40	王子公園東（青谷川脇歩道）　点呼完了・出発
9：50 頃	舞鶴水産実験所　到着
10：00～10：30	開講式・概要説明・諸注意・実習場所に移動
10：30～12：00	実習Ⅰ ・ Ａ班：実習船に乗船して舞鶴湾の環境調査と生物採集 ・ Ｂ班：刺し網やトラップの生物調査と解析
昼食（60 分・時間調整）	
13：00～14：30	実習Ⅱ（Ａ班、Ｂ班入れ替えて、午前中と同じ内容）
14：30～16：00	データ解析と考察　引き続き閉講式
16：20	舞鶴水産実験所　出発
18：30 頃	王子公園到着予定（交通事情により遅れる場合があります）

その他　　バス移動の時間が長いため、乗り物酔いする生徒は各自で対策を講じておくこと。
濡れてもかまわない長袖・長ズボン、運動靴と帽子（麦藁帽のようにツバの広いものは不可）を着用する必要がありますので、制服は着用しません。また、念のため、着替えを持参すること。

舞鶴水産実験所について（http://www.maizuru.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/より）

水産生物標本館・わが国の魚類分類学の基礎を築かれた旧水産生物講座初代教授故松原喜代松博士が集められた魚類標本を収蔵する建物として１９８４年１月に完成。その後に実験所スタッフ等が収集した標本を加え、わが国では最大級の魚類標本数を誇っている。

研究棟・・・・・２００２年３月に完成。一階には試料処理室・分析実験室・資材室・軽工作室を備え二階には教官・学生・外来研究者の研究室を備えている。

飼育棟・・・・・２００２年３月に完成。４つの恒温室と大型水槽室からなり，試料固定室や資材室を備えている。別棟のろ過室で５μｍまでろ過した清浄海水が供給される。

実習調査研究船・フィールドの調査研究及び臨海実習には、緑洋丸と白浪丸が利用されている。
緑洋丸：１９９０年３月に３代目の実習調査研究船として建造。最大搭載人員３０名。
白浪丸：１９８０年３月竣工。最大搭載人員７名。